

教材No.	5	人々の不平等
関連教科	情報、公共、保健、家庭、国語	
関連SDGs	目標10（人や国の不平等をなくそう） 目標16（平和と公正をすべての人に） など	

### ■教材の概要

- ①経済面・社会面の不平等解消の理解を深める中で、社会デザインの力を育みます。
- ②様々な属性軸の存在を把握することで、課題探索・仮説構築の力を育みます。



### ■学びの流れ（赤：起承転結の発話、緑：生徒ワーク）

段階	活動内容
導入 10分弱	<ol style="list-style-type: none"> <li>1（アイスブレイク）</li> <li>2「<b>違い（不平等や偏見）の存在が、心の健康を阻害している</b>」</li> <li>3（セグメンテーションについて説明）</li> <li>4（MECEについて簡易説明）</li> </ol>
展開1 10分弱	<ol style="list-style-type: none"> <li>5「SDGsでは経済・社会・環境の持続可能性を追求する中で、誰一人取り残さない（no one will be left behind）世界の実現を掲げています。ここには、人間そのものの領域である経済と社会の視点が深くかわります。まずは、<b>経済面、特に所得の違い（不平等）を解消する方法とは何か考えます。</b>」</li> <li>6（ワーク1：経済面での違い（不平等を解消するにはどうしたらよいか）を検討。）【個人 or グループ】</li> <li>7（JICA動画を視聴しつつ、事業の創出が経済や所得の格差を解消することを説明。）</li> </ol>
展開2 20分強	<ol style="list-style-type: none"> <li>8「<b>続いて、社会面での違い（不平等）を解消する方法とは何か考えます。</b>」</li> <li>9（格差の一例を提示）</li> <li>10（ワーク2：社会面での違い（不平等）を解消するにはどうしたらよいか検討。）【グループ】</li> <li>11（格差の再生産・固定化について簡易説明）</li> </ol>
まとめ 5分弱	<ol style="list-style-type: none"> <li>12「<b>多様性や社会包摂を実現するには複合的な取り組みが求められます。そこでは、人々の習慣・価値観を変えるビジネス、情報発信、時にはルール作りも選択肢に入れ、複数の手段を組み合わせることで社会をデザインする必要があります。</b>」</li> <li>13（まとめ：SDGs・探究・価値づくりの観点で、ポイントを振り返る。）</li> <li>14（各人での振り返り、中間課題の予告・説明、等）</li> </ol>

■指導上の留意点（赤：起承転結の発話、緑：生徒ワーク）

段階	指導上の留意点、教材作成の狙い
事前活動	0 （授業予告と簡易思考問題の提示：自分のマイノリティな要素は何か？）
導入 10分弱	<p>1 （アイスブレイク：事前活動の内容は、繊細な内容を含む可能性があるため、他人と情報交換しない。一方で、マイノリティな部分を強みとして言い換える意識が重要であることを伝達。）</p> <p>2 「違い（不平等や偏見）の存在が、心の健康を阻害している」と、学びの導入を行う。</p> <p>3 （セグメンテーションの解説を行う。）</p> <p>4 （MECE：セグメンテーションと併せて、探究をする上で理解しておきたいことを伝達。）</p>
展開1 10分弱	<p>5 「経済面での違いを解消するには？」と、学びを深める発話を行う。</p> <p>6 （ワーク1：セグメンテーションで提示した属性情報を基に、不平等が生じている集団を特定することを助言。所得が低くても、幸せ（Well-being）に生きていくことも可能であることを補足。）</p> <p>7 （ビジネスで所得格差解消：ビジネスや雇用は、安心できる生活（幸せ）に繋がることを意識づける。）</p>
展開2 20分強	<p>8 「社会面での違い（不平等）を解消するには？」と、さらに学びを深める発話を行う。</p> <p>9 （格差の一例に触れる。）</p> <p>10 （ワーク2：社会面での格差解消は難しく、解決までの道筋・シナリオを作ることに苦勞するため、各主体が小さくできることを複数組み合わせ、状況を改善する考え方を助言。（例：啓発・機運醸成等はタスクを分解。自身の経験（言葉にできない違和感・もやもや）を基に、話し合いを通じて独自の不平等問題を提案できることも示唆。）</p> <p>11 （格差の再生産・固定化：特定の1つのアクション・取り組みだけでは解決できない問題であることに言及。）</p>
まとめ 5分弱	<p>13 「多様性や社会包摂を実現するには複合的な取り組みが求められる。」と本日のワークの意義に言及。</p> <p>14 （まとめ：SDGs・探究・価値づくりの3観点で、今後の教訓を振り返る。）</p> <p>15 （振り返りの一例：今後の探究や人生に生きそうな「気づきや印象に残ったこと」を各人でメモ。）</p>
事後活動	16 中間ワーク2：探究行為の一連の見通し（動機・目的、仮説、アクション、等）を持つためのトレーニング。

■学習の目標

成長軸	指導の目的	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
SDGs	不平等や偏見を解消するためには、ダイバーシティや社会包摂が重要と理解する。	不平等から抜け出せずに辛い思いをしている人々の存在を理解している。	どのような属性の人が不平等や偏見に苦しんでいるのか、想起・推察できる。	不平等や偏見を受ける人・受けない人の両当事者の視点を尊重しながら、解決策を見出そうとしている。
探究	人々の違いや社会変化に対する、小さな気づき・違和感を大事にする。	人々の違いは様々なセグメント（区分）として表現されうることを理解している。	人間の様々な側面（セグメント）を想起・比較し、どのような不平等が生まれているか表現できる。	実社会で不平等や偏見を知覚できるよう、自身の感性を磨こうとしている。
価値づくり	複数の手段を組み合わせ、社会をデザインすることが重要と理解する。	産官学などの様々な関係者が社会に関与していることを理解している。	複合的な視点で、格差・不平等の再生産を断ち切るアイデアを表現できる。	自身に関係する問題として、最適な社会の在り方を考察しようとしている。

■教科との関連（評価規準は学習指導要領に記載の、当該科目・単元の目標に準拠）

教科	関連する科目・単元（学習指導要領との対応）	アレンジ例、利用例
H R	人権教育	展開1・2の内容を活かし、左記単元の導入又は関連学習として活動を行う
情報	情報通信ネットワークとデータの活用	展開1・2の内容を活かし、左記単元の導入又は関連学習として活動を行う
公民	経済格差	展開1・2の内容を活かし、左記単元の導入又は関連学習として活動を行う
家庭	保育	展開1・2の内容を活かし、左記単元の導入又は関連学習として活動を行う

■活動の狙い（SDGsの目標、探究の武器、知財創造教育の要素との関係）

段階	SDGs ゴール	探究の 武器	知的財産・ 価値 づくりの 武器	尊重			創造			社会	
				人間の 心を尊重 する	既存の アイデアを尊重 する	他者の 強みを尊重 する	課題を 見つける	解決策・ア イデアを考 える	アイデ アを表現 する・伝 える	自他の 暮らしや人生 を豊かに する	持続可 能な「社 会・文 化」に 貢献する
導入		属性軸 MECE		●							
展開 1	8, 9, 10, 16			◎	●		◎	◎	●	●	●
展開 2	1, 2, 4, 5, 10, 16	解決策の組 合せ ペルソナ分 析		◎	●		◎	◎	●	●	●
まとめ		包摂性	デザイン コンテンツ								●

■参考文献

No.	文献名称	URL等
1	JICA SDGs動画シリーズ「ゴール8//働きがいも経済成長も」	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=0CeRuxZVtVo">https://www.youtube.com/watch?v=0CeRuxZVtVo</a>